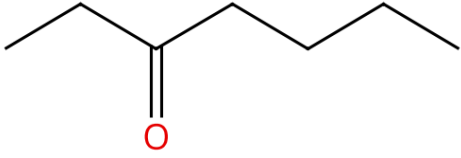


化学物質管理のための濃度基準値及び測定方法

No.2004_106-35-4

物質名 (CAS)	ノルマル-ブチルエチルケトン (106-35-4)			
濃度基準値	八時間濃度基準値	70 ppm	短時間濃度基準値	—
物性等	分子量	114.19	構造式 	
	融点	-39°C		
	沸点	147°C		
	密度	0.8128 g/cm ³ (25°C)		
	飽和蒸気圧	500 Pa (25°C)		
	飽和蒸気圧濃度	4935 ppm		
	飽和蒸気圧濃度/濃度基準値	70		

SciFinder®

測定方法の一例

以下に示す測定方法は、文献調査等を基に作成された一例であり、利用に当たっては、使用者が事前に確認を行う必要がある。

測定方法	
固体捕集方法—ガスクロマトグラフ分析方法	
文献情報	
タイトル	KETONES II:Method No.1301
著者	NIOSH
資料名	NIOSH Manual of Analytical Methods (NMAM), Fourth Edition
巻, 頁 (出版年)	Issue 2, - (1994)
備考	—
捕集	
サンプラー	ヤシ殻活性炭管 (100 mg/50 mg)
捕集流量	0.01~0.2 L/min
捕集時間	—
採気量	1~25 L
分析	
前処理方法	抽出/脱着溶媒：1%メタノール入り二硫化炭素 1 mL 操作：時々かき混ぜながら30分放置
分析方法	装置：ガスクロマトグラフ-水素炎イオン化検出器 (GC-FID) カラム：10% FFAP on 80/100 Chromosorb W-AW, ステンレススチール (3 m×3 mm ID)

評価		
測定範囲	評価基準	1. 測定範囲が濃度基準値の1/10から2倍の範囲をカバーすること。
	採気量	10 L
	濃度範囲	1.1～107 ppm
	評価結果	測定範囲が濃度基準値の0.1倍から1.5倍の範囲をカバーしている。高濃度では試料を希釈する。
抽出/脱着率 又は添加回収率	評価基準	1. 濃度基準値の1/10の濃度で捕集剤からの脱着率や添加回収率が75%より良好であること。
	濃度	5.4～150 ppm
	抽出/脱着率又は添加回収率	94%
	評価結果	○
保存安定性	評価基準	1. 濃度基準値の1/10から2倍において、捕集試料の冷蔵時の保存安定性が90%を超えること、または溶液試料としてその値を確保できることが推測されること。
	濃度	—
	保存条件	—
	保存日数	—
	保存率	—
評価結果	濃度基準値の1/10から2倍において、捕集試料の保存安定性が90%を超えるデータが示されていない。捕集後、速やかに測定すること。	
破過	評価基準	1. 濃度基準値の2倍の濃度で破過なく測定できる条件があること。
	濃度	98.6 ppm
	採気量	24 L
	破過の有無	無（5%破過点の記載あり）
評価結果	濃度基準値の1.4倍の濃度で破過なく測定できる。	
備考	—	
測定上の注意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ノルマル-ブチルエチルケトンや使用する試薬についてラベルやSDSを最初に確認し、作業のリスクに応じてドラフト、適切な保護具の使用等のばく露低減対策を講じる。 ・メタノール、二硫化炭素は皮膚等障害化学物質であるため、作業手順に応じて適切な化学防護手袋を着用する。 	

その他の測定法

1. NIOSH Manual of Analytical Methods Fourth Edition Method No.2553,KETONES II,2003